

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%	○				
算数	56.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%	○				
情報の扱い方に関する事項	52.3%	○				
話すこと・聞くこと	65.8%	○				
書くこと	45.7%	○				
読むこと	65.9%	○				

【考 察】

- すべての領域において全国正答率を下回りましたが、文章を読み取り考えたことを自分の経験と結び付けて書く問題や、漢字を使って正しく書き直す問題については全国平均を上回りました。定期的な「漢字コンクール」や、叙述や表現に着目して書かれている内容を正しく読み取る活動が成果につながったと考えられます。
- 「書くこと」の領域では、文章の続きを集めた情報から抜き出して自分の考えが伝わるように書くことに課題が見られました。書く材料を引用したり、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、より相手に伝わる書き方について指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%	○				
図 形	55.3%	○				
測 定	78.1%	○				
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%	○				

【考 察】

- すべての領域において全国正答率を下回りましたが、割合と比較量から基準量を求める問題や、立方体の体積の求め方についての理解は全国平均を上回りました。これからも、基礎・基本の確実な定着を図るために、図や数直線に示して数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、「算数コンクール」などの機会を通して反復練習にも積極的に取り組ませていきます。
- 問題文で何を問われているかを確認する習慣を身に付けることや、問題を解決する条件を確認したり、式だけでなく言葉でも説明したりする活動を重視していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	表郷小	20.0	58.0	16.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「家でも楽しい学び」を目指し、自らの興味に基づいて自発的に行う学習に意味があることを全校生で確認しています。また、「自主学習メニュー表」を参考にしながら、自主学習につながる目標を自分なりに立てて取り組ませたことで、自ら学ぶ意欲が向上してきています。家庭学習の内容の精選と自主学習への効果的な取り組み方についても指導していきます。
- タブレット端末に慣れ親しむことで、分からないことや詳しく知りたいことがあったときは、インターネットで調べる方法が身についてきています。調べたことを基に考えたり表現したりすることができるよう情報活用能力も高めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	表郷小	4.0	6.0	22.0	46.0	18.0	2.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている家庭学習時間70分（学年×10分+10分）をおおむね満たしている児童は32%でした。
- 「学年×10分+10分」が達成できていない児童には、自己マネジメント力が向上するよう指導していきます。また、友達の自主学習ノートを参考にしながら、自分でもできる学習方法を考えさせていきます。家庭と連携し、学習時間の確保と充実に努め、メディアコントロールの意識化と再確認をしていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
6	表郷小	2 8. 0	5 8. 0	1 2. 0	2. 0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の「振り返り」では、どんなことが分からないのか、もっと詳しく知りたいことは何なのかを考える時間を設け、自分の課題を明確にすることで、主体的に学ぼうとする姿勢が育ってきました。
- 「何が分かって、何が分からないか」だけでなく、自分の成長や変容についても考えられるよう、振り返りの質を高める指導をしています。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまら ない	学級の友達との間 で話し合う活動 を行っていない
小	全 国	4 3. 5	4 2. 2	1 0. 6	2. 4	0. 7
6	表郷小	3 4. 0	5 0. 0	1 4. 0	2. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 本校は「楽しい学びのある学校」をめざし取り組んでいます。学級の中で安心して話せる、話を聞いてもらえるという雰囲気作り（学級経営）も子ども達にとって「楽しい学び」の一つになっていると考えます。今後も、楽しさと学力の定着が直結するような学級づくり、授業づくりを工夫していきます。
- 課題に対して自分の考えを明確にし、友達の考えを聞きながら共通点や相違点を整理していくことで、さらに考えが広がることを指導していきます。また、具体的に図や式、言葉を見せながら説明するなど、相手が視覚的にも捉えやすい話し方が身につくように指導していきます。